

# GPA 制度

## 1. 成績評価の基準

本学においては、平成28年度入学生からGPA制度を導入し、成績評価の基準とGP等の対応は、下記の表のとおりとします。

この表における「目標」とは、各授業担当教員が『シラバス（授業計画）』において明示した「到達目標」のことであり、評価は、試験成績、学習に取り組む姿勢・意欲等を総合して行われ、評価比率については、シラバスにおいて「成績評価の方法・基準」として各科目ごと具体的に示すので留意してください。

判定	評点	評価	評価基準	GP
合格	100～90点	秀	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。	4
	89～80点	優	目標を十分に達成し、優れた成績をおさめている。	3
	79～70点	良	目標を達成している。	2
	69～60点	可	不十分だが、目標を最低限達成している。	1
不合格	59～0点	不可	目標を達成していない。	0
合格	/	合格	目標を達成している。	対象外
不合格	/	不合格	目標を達成していない。	対象外

(注)・出席不足による受験資格なしの者（「停止」）、試験時欠席・レポート未提出等の者（「欠席」）については、当期の履修を放棄したものとみなし、GPは「0」とします。

- ・本学入学以前に他大学等で修得した単位で、所定の手続により「認定」を受けた科目は「合格」として取り扱います。なおGPAの算出対象外とします。
- ・管理栄養学科教職課程（栄養教諭一種免許状）における科目中、教職に関する科目、栄養に係る教育に関する科目、その他教職課程に関連のある科目については、卒業要件とは別であることから、GPAの算出対象外とします。
- ・「秀」は原則として成績上位20%程度を上限とします。

## 2. GPAについて

GPA（Grade Point Average / 成績平均値）は、成績評価を数値に換算した平均値です。

本学においては、GPAという客観的数値に基づく履修指導に役立てるとともに、学生の主体的な履修管理を促すことを目的としています。学期ごとに算出されるGPAを期間ごとに比較検討し、今後の履修・学習計画に役立ててください。

## 3. GPAの算出について

(1) 履修した各科目の単位数にGP（Grade Point）を乗じて、その履修単位数の合計で除したものがGPAです。

### 【GPAの計算式】

$$\frac{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)}{\text{総履修登録単位数 (不可、停止、欠席を含む)}}$$

### 【算出例】

授業科目	単位数	成績評価	Grade Point	Grade Point × 科目の単位数
食生活論	2	良	2	2 × 2 = 4
リテラシー	1	優	3	3 × 1 = 3
心理学	2	秀	4	4 × 2 = 8
日本国憲法	2	優	3	3 × 2 = 6
化学	2	可	1	1 × 2 = 2
化学実験	1	良	2	2 × 1 = 2
情報処理演習 I	2	優	3	3 × 2 = 6
体育実技	1	優	3	3 × 1 = 3
英語 I	1	良	2	2 × 1 = 2
フランス語 I	1	良	2	2 × 1 = 2
合計	15			38 Point
GPA=2.53	(38 ÷ 15=2.533……小数第3位を四捨五入し、第2位まで表示します。)			

(2) GPAには学期GPAと累積GPAがあり、学期GPAは当該学期に評価された科目のGPA、累積GPAは入学時から当該学期までに評価されたすべての科目のGPAです。

前期及び後期終了後、成績確認のため学生配布並びに保証人に送付する成績通知書には、学期GPAと累積GPAが記載されます。

(3) 追・再試験の科目については、可否に関わらず追・再試験の成績評価に対応したGPとします。

#### 4. GPAによる履修指導および履修登録上限単位数の緩和について

(1) 入学前教育、初年次教育、教養教育および専門教育を通して、学生の質の保証と社会に貢献できる管理栄養士、食品技術者を育成することを目標とし、次のように学修支援を行います。

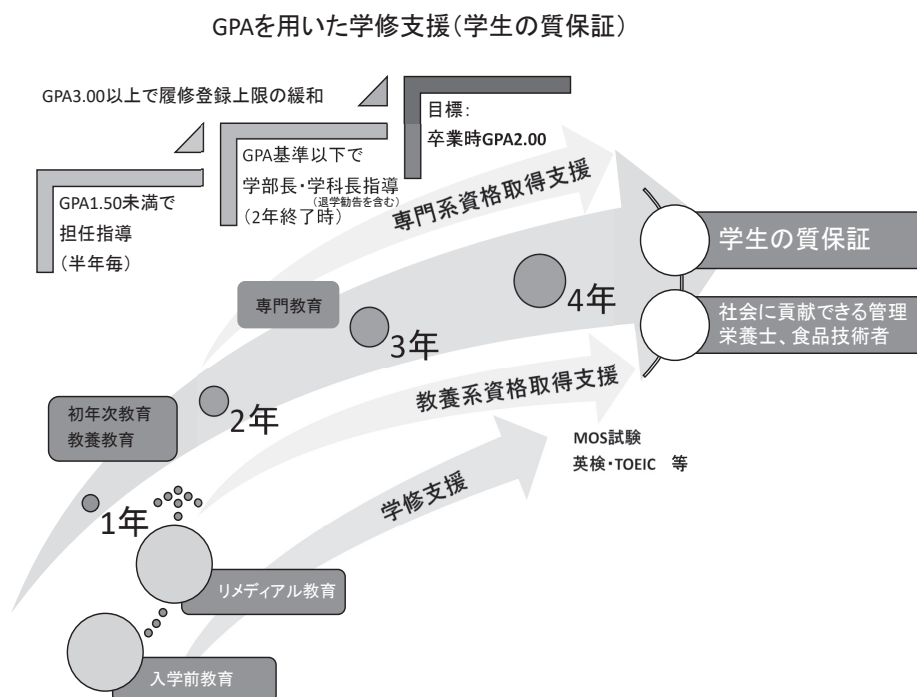
① 学期GPAが1.50未満の学生は、学年担任による学修指導を行います。

② 2年終了時の累積GPAが1.50未満、かつ必修科目（選択必修科目、教職必修科目含む）不合格が5科目以上の学生は、学年担任による助言に加え、学部長・学科長による指導（改善が見られないときは退学勧告を含む）を行います。

③ 卒業時の累積GPAが2.00以上となることを目標とします。

(2) 安易な履修登録を行うことはGPA低下につながるため、行わないでください。

(3) 前年度に開講された必修科目（選択必修科目、教職必修科目含む）をすべて修得し、かつ前年度のGPAが3.00以上の学生は、次の年度において、1年間の履修登録上限単位数を超えて最大4単位まで履修登録することができます。



## Question and Answer

### Q1. GPA が低いと卒業できないのでしょうか？

A1. 卒業できないことはありませんが、前学期のGPAが1.50未満になった学生に対しては、学年担任等による学習計画についての指導を行います。

### Q2. 標準的なGPAの値はどのくらいですか？

A2. 全ての授業科目で優れた成績（優）の成績評価を取得した場合、GPAの値は3.00となります。また、本学では卒業時の累積GPAが最低でも2.00以上となることを目標としていますので、累積GPAは2.00～3.00を標準的な値として考えることができます。